

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地	北九州市小倉北区紺屋町9-1
団体名	明治安田生命保険相互会社 北九州支社
代表者	北九州支社長 篠原 学

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	めいじやすだせいめいほけんそうごがいしゃ	
団体名	明治安田生命保険相互会社	
(ふりがな)	ながしま ひでき	
代表者氏名	永島 英器	
所在地	市内事業所	北九州市小倉北区 紺屋町9-1
	主たる事業所	千代田区丸の内2-1-1
事業概要	各種生命保険の引受／保全、資産の運用などの生命保険業および付随業務など	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	金融業、保険業	
従業員数（企業のみ）	301人以上	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	https://www.meijiyasuda.co.jp/	

連絡先

担当部署	北九州支社
担当者	永松 佳明
電話番号	093-531-6332
メールアドレス	yo-nagamatsu@meijiyasuda.co.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDG未来都市計画」の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					<ul style="list-style-type: none"> 当社は、事業者として自社が排出するCO2排出量の削減に取り組むとともに、機関投資家として投融資先による排出量の削減にも貢献することをめざし取り組み 自社による排出、投融資先によるCO2の排出について、2030年度には△50% (※)、2050年度にはネットゼロとする削減目標を設定し、その達成に向けた取組みを推進 (※) 2013年度比。自社による排出の「Scope3」のみ△40% 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	環境(1)②
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					<ul style="list-style-type: none"> 本社がある明治安田生命ビルの各階に専用リサイクルボックスを設置するなど、廃棄物の分別回収やリサイクルに積極的に取り組んでおり、2020年度のリサイクル率は80.7% 本社・支社および営業所より発生した各種印刷物について、リサイクル実施による廃棄物を削減するとともに資源の有効活用を推進 	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	具体的な取組
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 { サプライチェーン管理 }					<ul style="list-style-type: none"> お客さま向け資料などの各種印刷物について、紙の使用削減や生分解性に優れた植物油墨の使用など、環境に配慮した取組を推進 事務用品については、エコーマーク商品、グリーン購入ネットワーク掲載商品、グリーン購入法適合商品、FSC認証商品などの環境配慮型商品を優先的に購入できるシステムを構築。2020年度における環境配慮型商品の購入率は金額ベースで72.6% 	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール13	具体的な取組
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					<ul style="list-style-type: none"> 社会課題の解決に貢献するイノベーションの創出に向けて、外部の企業・研究機関との連携を強化 	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール9	経済(1)②
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					<ul style="list-style-type: none"> 「みんなの健康プロジェクト」「地域の元気プロジェクト」の2「大」プロジェクトを会社横断の取組みとして展開 「みんなの健康プロジェクト」では、「商品・サービス・アクション」の3つの分野で、ステークホルダーの健康増進を継続的に応じる取組みを、「地域の元気プロジェクト」では、当社従業員が「ひと」「職場」「まち」をつなぐ「担い手」となり、地域に「つながり」をお届けすることで社会課題の解決に貢献する取組みを推進 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール11	社会(2)①
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 { 労働環境整備 }					<ul style="list-style-type: none"> 法定外時間労働時間の上限ルールや勤務間インターバルの設定、パソコンの強制シャットダウンの導入等、長時間労働を抑制する対策を実施 自宅や出張先でも会社と同じようなシステム環境で仕事ができるテレワークやコアタイムの無いフレックスタイム制、年次有給休暇の時間単位付与、地方在住のまま本社の業務を行なうリモート型勤務を導入するなど、時間や場所にとらわれない働き方を支援 男性の育児参画を促し男女ともに働きやすい職場環境の実現をめざし、2020年度は男性の育児休業取得率100%を達成 柔軟な働き方や自由な発想、オープンコミュニケーションを目的に、画一的なスーツスタイルからビジネスカジュアルな服装を可能とした「MY Styleドレスコード」を展開 	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	具体的な取組
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 { ジェンダー平等 }					<ul style="list-style-type: none"> 女性管理職の継続的かつ計画的な排出に向けて、「L-NEXT」として登録する育成体制を整備。令和2年度に「東京都女性活躍推進大賞」の「大賞」を生産業界で初受賞 一人ひとりの実績および意欲・適正に基づいた成長・活躍をいっそう後押しすることを目的に、2021年4月、契約社員のうち原則として希望者全員、約1,900人を「正社員化」 2019年4月より職員の定年の上限を65歳まで延長。加えて2021年4月には定年後の嘱託再雇用の上限年齢を70歳まで引き上げ 障がいのある従業員が働きやすい職場環境を実現するため、UDトークアプリを搭載したタブレットの配備、障がい者専用相談窓口の設置に加え、上位職制への登用機会を提供 	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール5	具体的な取組
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 { ハラスメント防止 }					<ul style="list-style-type: none"> 各職場において「人権研修」を年2回以上開催。「同和問題」「ハラスメント問題」等のテーマを研修する内容 職場におけるパワー・ハラスメントやセクシャル・ハラスメント等の人権侵害行為に対する相談・通報窓口として「人権110番」をコンプライアンス統括部に設置。専任の担当者を配置 	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール5	具体的な取組
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					<ul style="list-style-type: none"> 従業員全体では、ウォーキングを中心に健康に対する「意識」「行動」の定着に加え、共通の健康課題であるBMI数値の改善に置き代えた健康増進施策を実施 重症化予防に向けて、セグメント別の特定保健指導の実施やオンライン診療を展開。健診結果によっては早急受診勧奨や産業医による健康管理を指導 職場や家庭に関する悩みや心の問題について社内相談窓口と社外カウンセラー相談窓口を併設し、従業員が自発的に相談しやすい環境を整備 	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール3	具体的な取組

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDG未来都市計画」の指標や取組
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					<ul style="list-style-type: none"> ・経営人財と専門人財が相互に補充しあう人財集団の形成を志向しており、その双方を計画的に育成していくため、デュアルラダーの強化に取組み ・上記、考えのもと、全職員に対し、OJDを主とした人財育成を推進。具体的には、一人ひとりが主体的にキャリアを推くことを求める「キャリアパス等を明示した冊子」を作成・周知。本冊子の内容を踏まえ、上長との「キャリアビジョン面接」にて、目指す姿を具現化し、日々の業務のなかで自己変革・自己成長を行なう風土を醸成 ・あわせて、社内の人財育成に関する事項を集約した企業内大学「MYユニバーシティ」を立ち上げ、全職員を対象とした「ビジネススキル」や「専門知識」の習得を支援する研修のほか、「経営人財候補者」「専門人財候補者」「女性」「シニア」等、指名された職員を対象とした研修を実施 ・なお、入社5年目までの全職員に対しては、別途、OJDや研修など十分な「教育態勢」を集約・整備のうえ会社力をあげて育成 ・また、採用については、デジタルツールを有効活用することで、「地域差のない採用広報活動（インターン等）」を展開し、学生の主体的な職業選択や高い職業意識の育成に取組み 	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール4	
				4.4				ターゲット	具体的な取組
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					<ul style="list-style-type: none"> ・各所属が具体的な取組事項を策定・実行する「コンプライアンス取組計画」を実施。客観的な評価指標を設定し、年度末に達成可否をもとに評価を行ない、所属ごとの進捗状況を経営会議等に定期的に報告 ・所属ごとに反社会的勢力への対応を行なう責任者および担当者を任命し、組織として適切に対応する体制を整備。2012年4月に普通保険約款に暴力団排除条項を導入したほか、保険取引以外においても暴力団排除条項を含む契約締結を行なうなど、継続的な対応を実施 ・贈収賄行為の禁止等を社内規程に規定し、各所属における対応の適切性の定期的な検証を実施。あわせて、不当な利益や優遇措置の取得・維持等を目的とする接待・贈答・金銭その他の利益・優遇の授受・供与を未然に防止する体制を整備 	ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	
								ターゲット	具体的な取組
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV（※）などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					<ul style="list-style-type: none"> ・「サステイナブルな社会づくりに貢献する取組みを強化するため、「サステイナビリティ経営推進」を担当する執行役を置くとともに、「サステイナビリティ経営推進部長」を設置。上記5に記載の2「大」プロジェクトをはじめ、社会課題の解決や人々の幸せで豊かな暮らしに貢献し、当社自身だけでなく、社会と共有できる価値（CSV）を創る活動に取り組む ・また、大規模災害への対策として、BCPIに基づく訓練を継続的に実施し、その実効性を検証するとともに、訓練結果の評価をふまえた見直し・レベルアップ等、PDCAを推進 	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール11	経済（2）①
								ターゲット	具体的な取組
							11.b	経済（2）ア	

※CSV（Creating Shared Value：共通価値の創造）
企業が社会課題に取り組む、社会に対して価値を創造することでビジネス（経済的な価値）を創出すること。

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和3年9月16日

団体名 明治安田生命保険相互会社

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs 達成に向けた取組方針等

- ・2大プロジェクト、「みんなの健活プロジェクト」、「地元の元気プロジェクト」をつうじて、「健康寿命の延伸」「地方創生の推進」を優先課題として取り組みます。
- ・さらなる取組が必要な優先課題として、「環境保全・気候変動への対応」の強化に努めます。

◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs 達成に向けた重点的な取組	指標 (KPI) ・ 目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済		健康増進に資する保険商品・サービスや、アドバイザー等による対面のサポートで、お客さまの健康維持・改善に向けた取組を応援	指標 (KPI)	スポーツコミュニティ参加者数	指標
社会	○		目標値		社会 (3) ①
環境			2023年	2020年5.8万人 ↓ 2030年100万人	具体的な取組
			(その他の場合) ()年		
経済	○	当社従業員が地域のみなさまに寄り添い、「社会的なつながり」をお届けすることで、地域のみなさまの暮らしの充実や地域の課題解決に貢献	指標 (KPI)	自治体との協働取組数	指標
社会	○		目標値		経済 (3) ①
環境			2023年	2020年125市区町村 ↓ 2030年600市区町村	具体的な取組
			(その他の場合) ()年		
経済		・事業者として、燃料・電力等の使用制限をはじめ、広くサプライチェーンから生じるCO2排出量の削減に取り組む ・機関投資家として、ESG投融資を通じ、脱炭素社会の実現に向けた技術・商品開発や事業転換等を後押しする	指標 (KPI)	CO2排出量	指標
社会			目標値		環境 (1) ②
環境	○		2030年	2013年度比▲50%	具体的な取組
			(その他の場合) ()年		

記載について

- ・「SDGs 達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- ・指標 (KPI) は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 明治安田生命保険相互会社

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
8 地域コミュニティ活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者施設、児童養護施設等への訪問・寄贈、地域清掃、環境保全活動など ・ 市民センターでの生涯学習講座開催 講師、資料、チラシ、集客等の支援
11 ながら見守り宣言企業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々のお客さま訪問活動のなかで、子どもやご高齢者の様子に変わったことがあれば警察署・自治体窓口連絡。
99 その他（市と連携した取組み）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種健康測定会、認知症セミナー集客の実施 ・ Jクラブ ギラヴァンツ北九州とコラボしたウォーキングイベント開催 ・ 小学生向けサッカー教室の開催 ・ 市民センターでの生涯学習講座の開催

記載について

・ 参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。

・ これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。

・ 参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。